

ひょうたけいけ

桜台小 学校だより
令和5年2月15日
第60号



本校の体調不良等による子どもたちの欠席状況も好転してきており、ほっとしています。報道によると、政府は3月13日(月)から屋内・屋外を問わずマスクの着用について個人の判断にゆだねる方針を決定しました。学校教育の現場では、新学期となる4月1日からマスク着用を求めないことを基本としています。2類から5類への移行に伴い、今後さまざまな緩和方針が出されると思いますが、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

※学校ホームページ「桜台っ子ニュース」では、日々の学校の様子をカラーで紹介しています。



プログラミングの授業を行いました(3年)。

新学習指導要領には、算数科、理科、総合的な学習の時間の中で、子どもたちがプログラミングを体験しながら、論理的思考力を身に付けるための学習活動を取り上げる内容やその取り扱いが例示されています。現在の義務教育においては、変化の激しい社会でも活躍できる大人になるため、テクノロジーを活用できる人材の育成や未来を生き抜く力を身に付けることが求められています。

2月9日(木)には外部機関にお願いし、3年生において特別授業「プログラミングの旅」と題し、タブレットを使ったオンラインによるプログラミングの授業を行いました。画面の向こうにいる指導者の指示に従い、学習が進められていきました。子どもたちは、楽しそうに興味深く授業に取り組んでいました。

「朝、学校に来てから何をやる?」という課題が書かれたカードを使い、順序立てて並べる学習をしました。また、ワークシートを使い、ゆきばあさんの料理レシピを完成させるために、さまざまな材料を使って、下準備をし、調理をして盛りつけ、トッピングをして完成させるまでの順番を考えるプログラミングを体験しました。授業の最後には、何人かが自分のつくったプログラムを発表して、指導者からの講評をいただきました。3年生は積極的に手を挙げて発表しようとする子が多く、すごく授業が盛り上がっていました。

今回は、ICT支援員の方にもプログラミングの授業に入っていたいただき、子どもたちのタブレット操作の支援をしていただきました。



登校指導、お世話になりました。

2月10日(金)に朝の登校指導がありました。「PTA地区委員」の皆さんから、子どもたちの様子や気が付いたことなどをあげてもらいました。紙面を借りていくつかを紹介します。●については現在指導しています。

- 今日は雨が降っていて、傘をさしていたので、ほとんどの班が縦1列に並んで登校しているのが印象的でした。普段から学校で指導していただいていることが身に付いてうれしかったです。
- ボランティアの皆さんにもきちんと「行ってきます」とあいさつができていました。
- 一番人数の多い班が遅くなっています。それでもあせることなくそれぞれのペースでゆっくりとまとまって歩いているので、とてもいいと思います。
- 雨が降っていましたが、子どもたちからあいさつがあったり、あいている手をあげて横断歩道を渡ったりしていました。
- うつむき加減で歩き、傘で前が見づらそうな子がいたので声かけをしました。
- 集合時刻に間に合う子が少なく、片方の班は、班長さんが毎日遅いので、学校で先生から声をかけてもらったり、地区児童会がなくても登校について確認し合ったりできるのいいのと思います。早めに来て、ずっと待っている子が、本当にかわいそうです。
- スピードを出して走っていく車がありました。雨の日には運転者も歩行者も特に気をつけてほしいと思います。



雨の日は傘をさしているため、運転手も歩行者も視界が悪くなっています。スピードを出している車も何台かあったようです。自分の身は自分で守れるように、雨の日は特に気をつけて登下校しましょう。(文責 北住 昌文)